

次月活動予定

11 月

- 1 日 栃木県農業大学校講演
- 2 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 4 日 どまんなかフェスタ 2018
- 5 日 TC エンカウンターグループ全国研修
- 6 日 宇都宮保護観察所プログラム
- 7 日 再乱用防止教育事業県北
- 8 日 県北家族の集い
- 9 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 10 日 家族教室 再乱用防止教育事業県央 山梨ダルクフォーラム ありんこ秋祭り
- 12 日 東京保護観察所プログラム
- 13 日 那須塩原市立黒磯中学校講演 とちぎ地域女性連絡協議会施設見学
- 15 日 再乱用防止教育事業県庁
- 16 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 17 日 埼玉ダルクフォーラム
- 19 日 小山警察生活安全課施設見学 0
- 20 日 再乱用防止教育事業県南
- 21 日 栃木刑務所教育研究授業
- 22 日 宇都宮保護観察所プログラム 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
- 23 日 乱用防止啓発活動
- 25 日 家族会
- 28 日 宇都宮市立姿川中学校講演
- 29 日 旭川観察所講演
- 30 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導

12 月

- 3 日 アディクションフォーラム実行委員会
- 5 日 再乱用防止教育事業県北
- 7 日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導

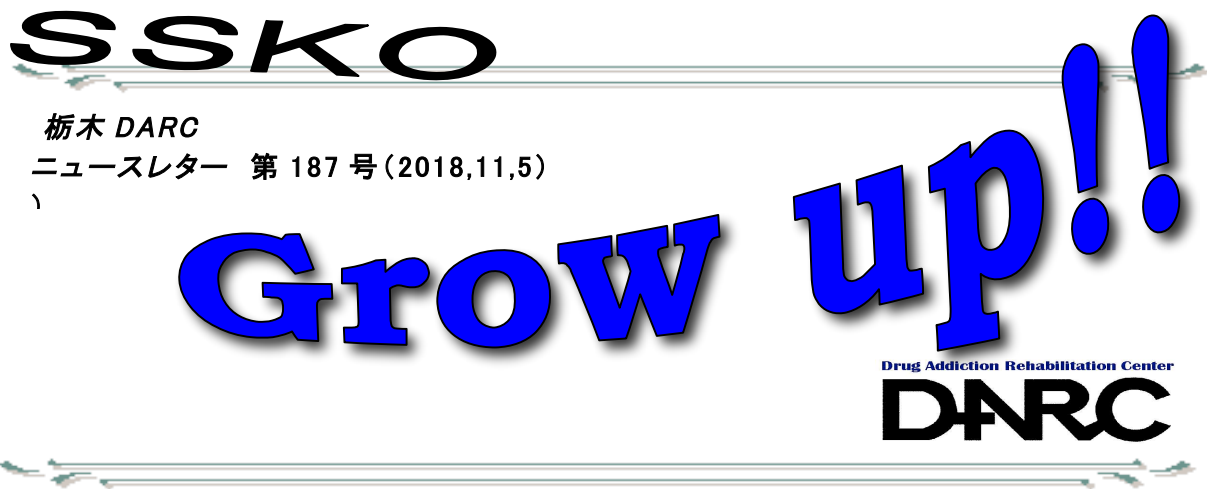
編集 特定非営利活動法人栃木 D A R C
〒320-0014
栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル 3F
TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

URL <http://www.t-darc.com>E メール:nesm@t-darc.com

発行所

郵便番号一五七〇〇七二 東京都世田谷区祖師谷三―一七―一〇二号

定価 100 円



MAC・DARC の原点

特定非営利活動法人 栃木 DARC
代表理事 栗坪千明

NA (Narcotics Anonymous) が AA(Alcoholics Anonymous) のフェローシップにより生まれたのと同じように、ダルクにはマックというお兄さん施設があります。MAC (メリノールアルコールセンター) で回復して職員となった近藤恒夫がダルクを作りました。この兄弟施設が唯一年に一度集まる会があります。それが JCCA(Japan Catholic Committee on Addiction)です。草創期にはメリノールという名称にもあるようにカトリック教会の宣教会にとっても支援を受けてマックもダルクも活動ができました。その支援をするための委員会が JCCA(<http://jcca-catholic.jp/>)だったのです。現在は独立した運営ができるようになり、JCCA はその恩を信徒さんたちに返すという目的に変わり、年に一度の定例会、研修会、信徒さんたちに向けたセミナーという形を取っています。

今年の研修会は東京で行われました。全国からたくさんの施設の責任者が集まり「MAC・DARC の原点」というテーマの研修会を行い草創期のことを知る責任者の話を聞きました。

MAC は 70 年代終わりに日本でアルコール依存になった神父さまが、アメリカの施設で回復し、日本に戻ってアルコールの施設を立ち上げたことが始まりです。そこで回復し社会復帰を果たしたメンバーが引き継ぐ形で MAC を始めたということです。

先進国の中では日本は特にアルコールに寛容な国です。そんな国がアルコール依存に全く手をつけていなかったというのも驚きですが、施設を始めたのが医療関係者や福祉関係者ではなく、宗教家だということも驚きですね。

ともあれ MAC は産声をあげ、徐々にアルコール依存は病気であり、リハビリが必要であるという認識が当たり前になっていきました。MAC の功績は大きなものだと思います。

そしてダルクですアルコールは病気だという認識が高まっていましたが、薬物は別です。なぜなら違法だからです。病気の前に犯罪者であるという理解の方が高く、また関係する機関も異なる（医療より司法的介入）ということからリハビリの場も別の方が良いのではということでダルクが 1985 年に産声をあげました。以降施設は必要に迫られ増え続け、現在 JCCA に加盟しているダルクは 5 4 事業所あります。それぞれ独自の活動を行なっていますが、12 ステップに基づく理念を持っているいわゆる COMPLEX(複合体)ではないかと私は思います。

3sc の取り組み

3sc 大吉 努

暑さに打ちひしがれていた夏も過ぎ、過ごしやすい季節になってまいりましたが日々、体調管理の難しさを感じています。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

早速ですが、最近の 3rd Stage Center（以下 3sc）の概要と取り組み状況についてお伝えします。現在、9 名の利用者がいて各自の目的に向かいプログラムに励んでいます。就労活動をメインに行なっている仲間もいれば、プログラムの最終段階に差し掛かっている仲間もいます。3sc は栃木 DARC で行なっている階層式システムである 3Stage の最終段階、「社会復帰」を担う施設になります。ここでは Stage3 のプログラムを終えたメンバーが就労活動に入り、一定の就労継続の後、社会復帰していきます。プログラムと就労活動について少し触れますと、1sc、2sc を経て、「感情コントロール」、「コミュニケーション方法」、「新しい生活習慣の大切さ」をプログラムで学んだメンバーが実際に社会に近い環境でそれを実践します。具体的に言うと、感情の乱れや起伏といった生活や仕事、対人関係上のストレス、使っていた場所や環境、薬に関係する人間関係など自分が使いたくなる条件をプログラムの中で特定し、使いたくなる条件を重ねない生活を自分で考えて実践します。プログラムではそれを「引き金の特定」と呼んでいます。そのため 3sc ではルールは最低限のものしかありません。自分で安全な生活や習慣を作り、実際に刺激の多い宇都宮で生活をしてもらいます。依存症者の欲求は周りの人にはわからない物なので自分から言えることも大切です。そういった場所としての役割を持つ自助グループへの参加も自主的に行なっています。こうしたプログラムを実践していくことで新しい生活と感情の習慣を獲得し、「認知のゆがみ」と言われる薬を使っていた時のストレスを溜め込む物事の捉え方から新しい物事の捉え方を土台にした考え方を携えて就労活動に入ります。

就労活動に関してですが、現在 4 名の仲間が福祉的就労を行なっています。その他に就労活動中の仲間が 2 名、職員研修が 1 名です。それぞれに就労計画を作成してもらい、そのプランを元に就労活動を行っています。基本的には再発に繋がりそうなものは避けるよう提案をしています。思い描く就労活動ができないもどかしさもある中で、各自前向きに取り組んでいます。現状の良い点としてはハローワークや就労支援事業所などとの連携が図れていることだと思います。これらの機関では長年の成果もあり、自身の依存症や背景をオープンにすることが就労活動のメリットになります。自身の依存症や背景を打ち明けて就労ができることの意味は非常に大きいです。なぜなら再発の段階で、周囲が連携を図れることで再使用に至らず社会活動を継続できることは本人と雇用側双方の信頼に繋がります。課題はオープンにすると制約が生まれる場合があることだと感じています。これはダルクだけの問題ではないと思いますが、日々感じているところです。プログラムでは「正直さ」や「嘘」など秘密を抱えると苦しくなることを学びます。感情コントロールなどに取り組む際にも自分に対しての正直さが必要になります。プログラムを終えて就労活動に出て正直に話せないというのは苦しいものです。自己開示は長年のテーマですが、過去の取り組み状況なども見ていると依存症をオープンにして段階的にストレスの負荷を上げていく就労活動をするると継続しているケースが多いと思います。僕もオープンにすることを提案しています。就労活動をスムーズに行い、それぞれが自己実現を果たしていくことが後から続く仲間へ何よりのメッセージであり、回復者がそれぞれの形で社会復帰することが社会資源になることへ繋がっていると僕は信じています。僕にできることは栃木ダルクの今年度の重点事業である「就労支援システム」を栃木ダルクとして作り上げることにしっかり関わること、それと日々の回復支援をこれからも続けていくことです。

自分のあり方

薬物アディクト　チビクロ

私は、昭和 48 年 11 月 7 日生まれ栃木県那須塩原育ちで、海外にも留学にも行き、現在 44 歳です。学歴は、普通で 16 歳の時高校に行き、その後、専門学校を渡り歩き海外にも留学をし、25 歳になって落ち着き、普通に仕事を始めました。職業ですが、いつもやっていた仕事ではあるのですが、接客サービス、レストランやホテルなど、15 年間 40 歳くらいまで はたらいていました。ですがその後、罪はなかったのですが、警察に手錠をはめられ新しくできた那須塩原警察署の留置所へ入れられました。その後設置入院で精神病院の一人部屋へ閉じ込められました。3 ヶ月入った後、主治医との面談があり、いろいろと相談できる環境になりましたが、出たいといっても言うことを聞いてくれず、精神薬の処方だけが増えていきました。自分もこれまでと観念しはじめて、外に出たいという気持ちだけが先走るのですが、もう行くところがないことにきずき、今の施設に連絡をしてもらい 3 ヶ月の時間を経て、今の薬物回復施設につながりました。施設に初めてきたころは戸惑うばかりでありメンバーに溶け込むことができませんでした。時間が経つにつれ少しずつ挨拶もおぼえ少しずつメンバーの人に受け入れてもらいながらうちとけていきました。やはり精神病院から移ってきたので施設での生活が、きびしく、きまりのある規則正しい生活でした。

NA のことになりますが、ずっと気になっていたのですが、自分が 33 歳の頃、通い始めた NA にあまり通うことも無くなりはじめ、35 歳のとき薬物でつかまり有罪判決をうけたのをきっかけに、NA には行かなくなりはじめました。ただ NA に参加したい気持ちものこっていて、たまに NA には参加しはじめました、ですが、自分ももう警察に捕まって、裁判所で罪をつぐなったのだから、もう NA 行く必要もないだろうとおもっていました。ですが、私の両親はいつも薬物回復施設の家族会に参加していたので、やはり自分にとって NA は必要なだと少しずつきずき始めました。その頃 NA はというと外から参加する人がすくなく自分は参加はしていましたが、たまに来るめずらしい人の扱いをうけてしまい、あまり注目はされていませんでした。ただ自分とおなじで、いろいろと悩み事を相談しあった仲間がいることをおもいだして、また通いたいと自分の意思をはっきりとさせていきました。

薬物のことになりますが、わたしは 21 歳のとき留学先のハワイの語学学校の先輩のすすめでマリファナをすいはじめました。はじめは、リラックスできると、いい意味で薬物とながってきましたが、3 ヶ月もするとすぐ親に薬物を使用していることが知れてしまって、その後は薬物に対する言い訳しか浮かばない日々でした。親に心配をかけたその後も、いじをはってる訳ではありませんが、薬物のいいところがしりたくてまた好奇心から、薬物が止められず 3 年間もつづけてしまい、仕事もせずに学校にだけにかよい、薬物をやっていることに何の意味があるのかもありませんでした。いっしょに住んでいた学校が一緒だった友人にも言い訳が立たつわけでもなく薬物つづけてしまい、反省はするのですが、意味も無く薬物がやめられず、ただ薬物を止めることだけにこだわり、仕事もさがさなければならぬのに、時間だけが過ぎていきました。ただ親にかけた迷惑は日々つのっていき毎日とりかえしのつかないアディクトになっていることにきずき、うそつきすぎのアディクトになってしまいました。

毎日、薬物にたいするいいわけを言っていた日々から、時間もたち自分のいい面を失っていた生活も、過去のこととなり、いまおもえば、薬物をやっていた日々がなかったなら、もっと立派な社会人としてとっくに自立していたのだなとおもいます。毎日、回復のプログラムと一緒に参加してくれたメンバーのみなさんにお礼を言いたいです　本当にありがとうございます。これからも懲りずによりしくお付き合いください。

本当の自分

依存症のヒロ

こんにちは、初めまして依存症のヒロです。何故、私はここにいるのか話したいと思います。

小学生の時はサッカー部のキャプテン、それに生徒会長までやらせてもらい、サッカーでは県大会 3 位、特別にこれまで無かったグッドマナー賞までいただきました。中学生の時は陸上部のキャプテンを務め都市対抗駅伝に選抜されるなど、なかなか活躍していたと思います。そして高校は頑張って進学校に入学しました。真面目なのは一年生まででした。タバコを吸うようになり、タバコだけにしておけば良かったのにポンド、そしてシンナーまで吸うようになってしまいました。本当はタバコもダメなんですけど・・・中型免許もないくせに友人から 4 0 0 c c のバイクを買いシンナーを吸ってバイクを乗り回し、悪い友人がたくさんできました。学校は嫌いではなかったので行っていたのですが、タバコが見つかってしまい停学処分、三年生の時に三回です。それでもなんとか卒業できました。

一つ年上の兄が大学に行っていたので、進学することを勧められたのですが「早く車に乗りたい」という変な理由で就職し社会人デビューです。地元での就職でしたので仕事が終わると悪友の家に行って遊ぶといった生活が続き、もちろん生活は荒れていて三回ほど逮捕されるといった始末です。運転免許も取り消し処分となりました。周りの悪友もヤクザ、薬を始める人、売る人など増えていき「このままでは、自分はダメになってしまう」と考えるようになり(もう結構ダメなのに)心機一転、空を守る公務員に入隊しました。試験は少し難しかったのですが「トップガン」を観たので頑張れました。

この一度地元を離れた事は、自分の人生にとって正解だったと思います。おかげで三十年もクリーンが続けられました。除隊してから都会に就職しビジネスホテルからの通勤、初の通勤ラッシュ満員電車、本当に大変でした。

何年か都会で暮らした後、実家に戻り実家から仕事に通い、五年ほど勤めた後二回目の見合いで結婚しました。17 年間の結婚生活も終止符となり、アパートでの一人暮らし、始めは気楽で自由、楽しんでいたのですが、二年も過ぎると、物足りなさ寂しさなど感じるようになり仕事も身が入らなくなり、自己都合といったありきたりな理由で辞めてしまいました。その結果、家賃も払えなくなってしまい実家に戻ることになり(いい年して何やってんだろ)と自己嫌悪に悩む日々が続きました。実家から仕事に通い、アパートを借りるために昼と夜の仕事を掛け持ち、アパートは借りることが出来たのですが、昼間の仕事が自動車整備工場、隣には車の板金塗装ブースも併設されていました。普段は整備工場での仕事で、たまに塗装ブースに行くと懐かしい匂いがしていました。

三十年前の感覚が甦り、適度の睡眠不足から疲れもピークに達していて、正常な判断をする事が出来ない状態でした。連日塗装ブースからシンナーを持ち出し吸引するようになり、逮捕された日は朝から吸っていて、おまけに酢酸エチルまで・・・数時間の記憶がありません。

午後一時頃でした、警察官がガレージの入り口から入ってきました。その後、何人もの警察官がやってきて何故かわかりませんが高速隊、私服警官まで大体 20 人くらい。少し大袈裟なのは、と感じながらスローモーションで映画でも観ているような感覚で連行されました。

逮捕され検事調べでは、略式で決定だろうといった流れでした。でも身元引き取りしてくれる人が見つからず、お手上げ状態でした。それで、施設長とチーフが裁判所まで迎えに来てくれました。感謝しています。

本当の自分はどんな自分なんだろう・・・・・・・・

挑み立ち直す

依存症のソウ

秋も深まり朝晩だいぶ空気が冷ややかになり、木々の葉が色鮮やかに染まり瞳にも麗しく、晴れやかに心が暖まる何寒の季節が来ました、秋たけなわです。

栃木ダルク的那須施設に入寮して早くも二年六ヶ月が過ぎました。色々な仲間との出会いが有り、お互い過去の苦労話等々、男同士の切なさ情話にじ〜んと胸に鼓動が流れ、肌にまで染み込み伝わり届きました。私はアルコール依存症、これから生きて行く為の知識階級をより広げ学び以前、元の正常な考え方、行動力を身体に戻す事は並大抵ではなく、もしかしたらもう元には戻らないかも知れないのです。でもここで、これから挑み立ち直す感情を抱きかかえ、これから先、将来に向けて気持ちを引き締め強い自分でなければ誰が守ってくれるのでしょうか。そうです、最終的には自分一人なのです。

ここから話は変わりますが、今までにこの那須の施設を二度、野木の施設を一度退寮、計三度目、特に計画は立てなく、思い込みで何とかかなり大丈夫、自立出来るのだろうと浅はかな考えが大きな間違え。しかも当然アルコールを飲んでしまい、持ち合わせの資金も尽き果て再度入寮の繰り返し、やや惨めな思いでも生きて行かなければと心を塗り変えて前進しなければと、強い信念を持って生活をしなければいけないのです。自分を立ち直す何よりも強い決心は三度の退寮で、退寮する都度辛い事、悲しさ切なさを覚え、体験した上での我が身にめげていた弱さを打ち消す私、作り出さなければならないのです。それは趣味歌とギターで弾き語り、以前スナック等で歌っていたのです。あの頃は楽しく良い生活を送っていたのです。また楽しさを戻さなければと、今度はもっと大きく作り出さなければと決意するのです。作詞・作曲をした歌を沢山歌い、先を追っていつになるか定かではないけれど、東京都に事務所がある作詞専門の通信教育講座会社に会員として、多少金額はかかるけど入会し、作詞だけでなく曲も完成してあと交渉して認め受けられ、内定されたら女性のプロ歌手、自分の希望歌手なのだけど出来るのなら栃木県内出身の森山愛子、森昌子のどちらかに歌ってもらえたなら嬉しい限りです。その為に土・日・祝と、朝八時三十分頃～夜二十二時三十分頃までタバコを吸う時間も惜しみ、昼食も時には食わず時が過ぎるのも早く夢中になってしまい、ギターを押さえる左手指の痛みも耐え、好きなのだから出来るのであって、練習に励み楽しんでる次第です。ちなみに何曲もある内でお気に入り作品で、娘・那珂川・紀州旅情のどれかがピックアップされ世に出ようになれば、何時の日かテレビ等で歌の前にタイトル・曲名・作者名が映り紹介され、もし別れ終わってしまった元妻や子供たち、十五年間付き合っていた女性それぞれがたまたま偶然にも目にして聞いていたらどう思いとってもらえるか、エッ、まさかあの人かと信じられないやるせなく救いの無い人だったのにやり直して正当な人物、道理わきまえ有る歩み豊かな一人の人間として価値を据え付け、常識判断力も備えつき、道徳・道義・理性を保ち多目的人格の大らかさを少しでも導て暮らし過ごし、どこかで人生を新たに塗り変えているのかなと思っていてくれたならと、自分としては嬉しさあふれる限りです。昭和三十年に産声をあげ母から授かり、今月十一月一日で六十三歳を何とか迎えられたかな、それは今まで生きてきて色々な事がありました。苦しみ悲しみ辛い出来事、躓き落ち崩れ、目の前が暗くこの先の生活や仕事にやや負担がかかってしまったけれども、何とか乗り越り涙を流した自分がいたのです。でも黒い影を少しずつ消え去らなければ明るさが遠ざかってしまう、早く灯火をこの手で掴まなければと一生懸命残された気迫を振り絞り、これまでにだって嬉しさ楽しさ幸福に満ちた時もあり、これが人生なのだ生きているのだと実感させて良かった事を思い返しこれから向かえ来る日々を見つめ直し、この世に私に一つの命を与えてくれた今はもう無き両親に深く感謝至極に痛み入る気持ちを、空白み明るむ心に返えながらこれから私は挑み立ち直す。

経験

ミカ

私が初めて覚醒剤と出会ったのは 1 5 年前です。きっかけは、当時付き合っていた男性が暴力団関係の人だという事を知っていました。

その男性は私が何も知らないと思ったらしく、私の目の前に白い粉の入った袋をボンと出してきました。そして私に「これ何か知ってるか」と聞いてきたので、私は「知ってるよ、覚醒剤」でしょうと言いました。

その男性が覚醒剤をやっているという事が会社で噂になっていたからです。そして、私はその男性と一緒に覚醒剤を初めて覚えました。注射器で覚醒剤を打ったのです。その後は、一週間ぐらい何かを食べるという事ができませんでした。水分しか取る事ができませんでした。みんなは覚醒剤をやると掃除とかに集中できるとか言いますが、私の場合は体がだるくて動けなくなってしまうのです。

家でゴロゴロする事が多くなってしまうのです。

最初は一日 1 回でよかったのですが、次第に追い打ちをするようになってしまい、最後は一日 6 回ぐらい打つようになってしまい、何年か前にゴールデンウィークの時には足がヨレヨレで、仕事を休む事になってしまいました。

覚醒剤の入手先は、別の暴力団関係者の所に電話一本でした。その日から、私は男性と一緒に売人の所に行くようになりまし

た。3 0 才で覚えて 5 年たった時、私は男性の子を妊娠していたのです。私は妊娠している事をわかっていながら、回数を減らしながら使っていました。無事に子供が産まれてからも、子供を連れて売人の所に行くようになりまし

た。そして男性がいない時にも売人の人の電話番号を教えてもらって、私 1 人で売人の所へ連絡するようになっていました。私が連絡した売人の所ではグラムじゃなくて大丈夫と言うので、ハーフで頼む事にしました。仕事をしてもらった給料をほとんど覚醒剤に使ってしまい、生活することができなくなってしまいました。

私は一緒に使っていた男性から自分で打つ事を覚えるな、と言われていたので自分では打てなかった

ので、売人の人に打ってもらっていました。子供が 4、5 才ぐらいになった時、私に「お父さんが台所の水道の所で注射をしていたよ」と、言ったのです。

私は、子供になんて言ったらいいいのかわかりませんでした。そして、男性がホテルの仕事を辞めて、違う仕事に就いた時職質をされて、覚醒剤が見つかってしまい逮捕をされてしまいました。

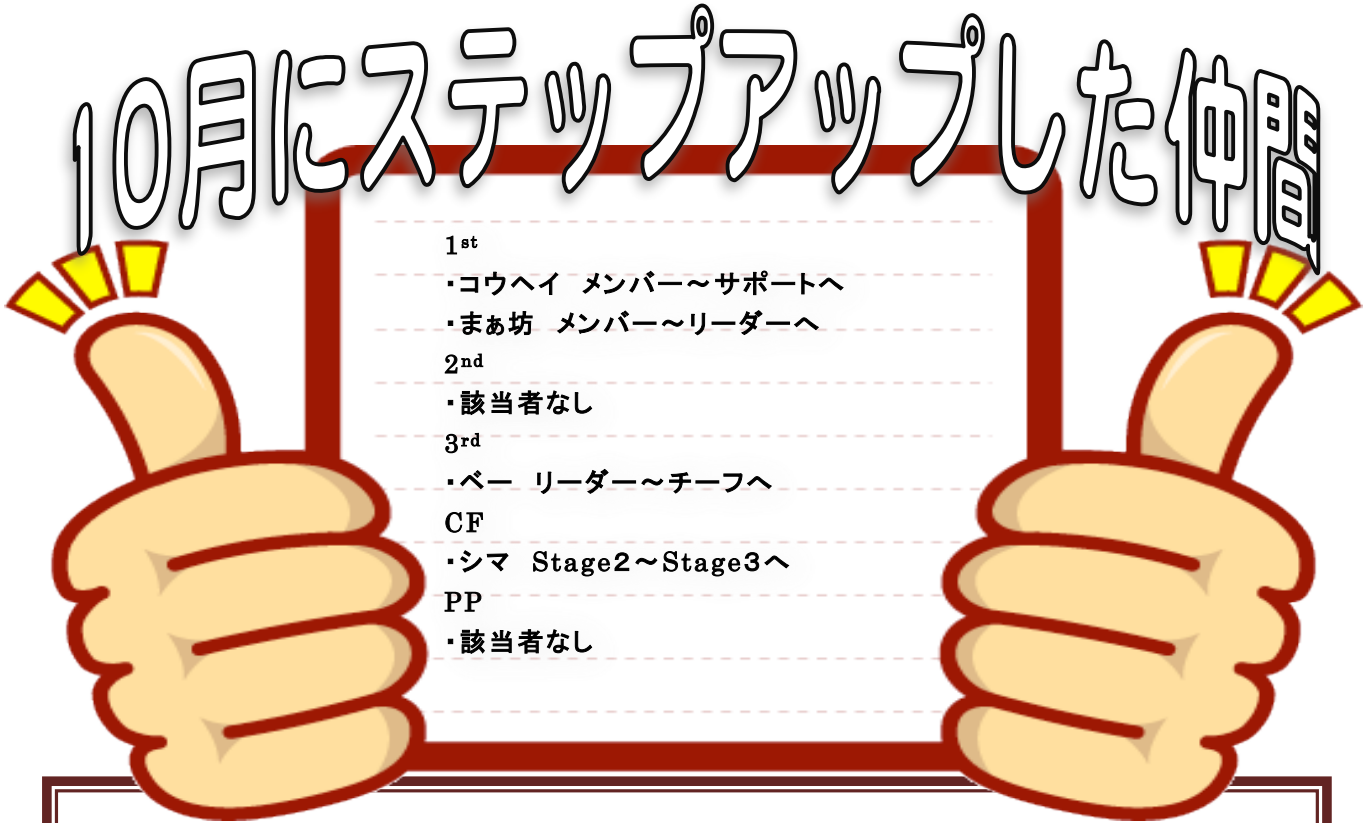
その後は大変でした。洋服や洗面具などをバックにつめて警察に持って行ったりしました。捕まって面会できるようになるまで結構な時間がかかりました。

面会ができるようになってからは、私は行ける限り警察の留置所まで面会に行きました。私にと

つての留置所への面会というのは初めてでした。そして留置所から、拘置所に移ってからしばらくして裁判が始まり私は証人に立ち、証言を

しました。私にとって裁判に出るという事は、初めての経験でした。裁判の判決が出る日の朝は、私は落ち着いていられませんでした。判決の結果は 1 年 6 ヶ月、執行猶予 3 年という判決でした。

そしてその男性は 4 年後の 9 月に亡くなってしまいました。そして私は治療のために、ダルクに繋がりました。



10 月の献金・献品

(献金) 那須トラピスト修道院様,他4名

(献品) フードバンク宇都宮様、星一明様、他匿名者 5 名様

とても助かっており、 栃木ダルクー同感謝しています。

献品のお願い

- ・ 修了予定者がこれからも数名いるので、日用品、家電一式、原付バイク、自転車、その他自立して使用できるものがあればよろしくお願いします。
- ・ 事務用品(中古パソコン等)、あればよろしくお願いします。
- ・ 1st StageCenter からソフトボール用のグローブ、用品よろしくお願いします。
- ・ CF から農機具関係(草刈機、農作業用品、トラクター)等あれば宜しくお願いします。
- ・ PP から自転車の検品あればよろしくお願いします。

お知らせと一言

・皆様いかがお過ごしでしょうか。11 月に入り早いもので今年もあと2ヶ月を切り何かと忙しい今日この頃です。昼間は天気が良いと暖かいですが夜になるとさすがに冷え込む今日この頃、皆様におかれましては風邪など引かぬようにお身体ご自愛くださいませ

編集 秋葉

TAKE 2

依存症のナガトモ

この度ペンを取りました、覚醒剤依存症の長朋です。ニュースレターを書くのは1年ぶりになります。まだ私のことを知らない人が居ると思いますので自己紹介をします。私は小さい頃は素直で元気な子でしたが、中学校を卒業後不良デビューしました。不良にあこがれたきっかけは女にもてると思い、うらやましいなと思ったからです。学力が無かったので高校に入学できず1年間通う専門学校に入学しました。そこには女の子は居ませんでした。その学校も先生と喧嘩をしてしまい、頭に来てタバコを吸っているとその日は風が強くて草に引火して学校を火事にしてしまい退学になってしまいました。その後工場で働きましたが、行ったり行かなかったりまさに時計仕掛けの日々でした。女のオの字もありませんでした。それがこれまでの長朋の人生でした。そんな私に人生のターニングポイントが訪れたのは、ある日の朝、友達の家を酒を買って遊びに行くと、その友達が青い顔をして座っていました。どうしたのかと尋ねると覚醒剤をやっていると言われ、僕はビックリして帰らせてくれと言いました。その友達は僕にビビリやがってと言ったのでナニをと思い手をめくりました。そしてその友達に覚醒剤を打って貰い「何だこの気持ちよさは」と思い、まさにあなたの知らない世界でした。僕は一日で覚醒剤にハマってしまったのです。それから毎日、お金が入るとシャブ、寝ても覚めてもシャブ三昧で、一年もしないうちに地元で有名なシャブ中になってしまいました。そんな自分が怖くなってしまい警察に自首して親には大量の借金がばれてしまいました。その時は本当に反省しました。もう薬はこりごりだと思ったのもつかの間で、またさっきのシャブを教えてくれた友達が薬をやらないかと来ました。僕はきっぱりと断りましたが、家に帰って夜になって目を閉じてても眠れないのでやばいと思いました。時すでに遅しで体が覚醒剤を欲しがっているのがわかりました。そして親に相談した僕は磐梯ダルクに行くことになりました。しかし入寮して3ヶ月で仲間とどうでもいいことで言い合いになりケンカして施設から逃げました。家に帰り再びシャブを使いようになり4年が経つと今度は精神病院に行くようになり、障害年金のことを知ると2カ月に1回支給される年金でシャブを買うようになり薬を使う量が増えて体がガリガリになり、今度は鳥取ダルクに行くわけですが半年で逃げてしまいました。次に群馬ダルクに2年半居たのですがそれでも薬が止まりません。時すでにまた遅し、二度目の逮捕になりましたが、そこでチャンスが訪れます。ある弁護士の先生に出会い栃木ダルクに行きなさいと言われ、僕は返事しましたが、心の中ではまた逃げてやると思いました。裁判で懲役2年執行猶予4年の判決が出ましたが、これも自分の想定内でした。

僕は本当にワルい人間になっていたのです。栃木ダルクに入寮して1日目で脱走しました。警察に逃げ込み、親に迎えに来いと駄々をこねましたが、そこにダルクの先行く仲間が迎えに来ました。今度は想定外で親に突き放しをされたのです。もう行く所が無い僕は本当に観念しました。

話はここで変わりますが、栃木ダルクの生活を書きたいと思います。今、私はクリーン1年5ヶ月です。ステージ3で役割はサポートをやっています。毎日同じことの繰り返しです。夏は死ぬほど暑いし、冬は寒さが身にしみます。朝5時半に目が覚めて7時に朝食を食べ8時半から茄子の収穫をします。ぶっちゃけ昔の生活に戻りたいと思う今日この頃です。でも今は私には仲間がいます。同じ釜の飯を食い、つらい時に助けあったり、笑ったり、ケンカしたり、今は覚醒剤のことは1ミリも考えられなくなりました。（笑）施設に居るからですかね。今は一日一日23年前の薬を使っていなかった自分に近づいています。いわゆる回復ですが、自分は回復の意味が正直あまりわかりません。でも一日を大切に生きることはわかります。僕も44歳、親も66歳、犬も7歳になります。早く気づかなくてはと思い、自分でいろいろな事をこの栃木ダルクで勉強して、早く卒業して親孝行したいと思っています。「これからを自由に生きるために」。

最後に、また会える日まで家族が健康で笑っていられるように祈り、終わりにしたいと思います。

施設報告

1sc（導入）16名 2sc（回復）12名 3sc（後期・社会復帰）9名 CF（農業）14名 pp ピースフルプレイス（女性）12名計63名で活動しております。各々の施設でステージ事のプログラムを実施しております。